

大正九年度の鐵鋼製産費は噸當り百五十圓で同十年度には百三十圓に減じ、十一年度は更に百圓見當に低減すべき見込みである、この原因は主として製産高の増加と原料運賃の値下、工事の繰延及び間接費用の節約によるものであると。

●英國銑鐵運賃引下 英國鐵道會社は銑鐵及鋼鐵を製造するに必要なる各種原料の運賃引下げを行ふ旨發表したが新運賃率は品に依り差別あるも戦前の運賃より一噸に付一志乃至八志方高い事になつて居る。

○正誤 (第九年第一號)

頁	段	行	誤
二二	上	一	缺くから
二四	上	二三	タラマシナ
二五	上	二二	カリマチ
二八	下	一一	爐より
二九	上	六〇七	三萬封度一分間に付
三〇	上	一一二	パンピング
三一	上	三〇四	四五噸：七〇噸：五〇噸
三二	下	二一五	40×5レヴェルジング
三二	下	二六	レヴェルジング
三三	下	七	八%ノ下、インゴットか
三四	下	五	ら豫程
同	上	二三	汽車に乗る
同	上	七	オアーピングの
同	下	一四	五基共共通で
同	下	二	普通

頁	段	行	正
二二	上	一	缺くべから
二四	上	二三	タラマンナ
二五	上	二二	カリマチ
二八	下	一一	爐より
二九	上	六〇七	一分間三萬立方呎
三〇	上	一一二	パンピング
三一	上	三〇四	各噸ノ下ニ爐ヲ加フ
三二	下	二一五	40×54レバーシシング
三二	下	二六	レバーシシング
三三	下	七	ブルムから
三四	下	五	豫定
同	上	二三	車に乗る
同	上	七	オアーピングの
同	下	一四	五基共同側
同	下	二	共通

頁	段	行	誤
三四	下	六	プレツジニア
三五	同	四	出來まして
同	同	五	スチールの
三九	上	三	山では
四一	上	二五	中等
四二	上	一二	間違つて
同	同	二〇	ドロマイト
同	同	二六	一日
同	同	三	コークスノ下
四五	下	六	八十萬噸
四九	上	一一	一三一五哩
同	同	一三	政府が
五一	上	一五	マグネタイト
五三	下	一七	製品
一〇一	同	一一	Sinhalese
一〇二	上	一〇	博士はノ下
同	同	二三	ラーフ
一〇三	下	一	想象
一〇四	下	二三	生銅
一〇五	上	一八	エチプトノ下
同	下	一四	タイト
同	同	一五	Gland stone
一〇六	下	四	鑄鐵
同	同	二三	れるものノ下
一〇七	上	八	澱堂
同	同	一九	マセドンの
同	下	二五	エール
一〇八	上	三	Ondaniquu
一〇九	下	四	少片
同	同	一一	可鍛鐵

頁	段	行	正
三四	下	六	プレシユア
三五	同	四	出來まして
同	同	五	鑄鐵の
三九	上	三	多自營の山では
四一	上	二五	特三等
四二	上	一二	も違つて
同	同	二〇	グルマイシニ
同	同	二六	銑一噸
同	同	三	銑一噸當ヲ加フ
四五	下	六	八千萬噸
四九	上	一一	一三一五哩
同	同	一三	政府の
五一	上	一五	マグネサイト
五三	下	一七	銑鐵
一〇一	同	一一	Sinhalese
一〇二	上	一〇	「ヲ加フ
一〇三	下	二三	ウーツ
一〇四	下	一	想象
一〇五	上	一八	青銅
同	下	一四	とヲ除ク
同	同	一五	タイト
一〇六	下	四	Gland stone
同	同	二三	鑄鐵
一〇七	上	八	ものヲ除ク
同	同	一九	澱堂
同	下	二五	マセドンの
一〇八	上	三	エール
一〇九	下	四	Ondaniquu
同	同	一一	少片
同	同	一二	可鍛鐵